

平成26年 1月10日



多摩支部会報

平成26年迎春号

東京都多摩支部
支部長 安田 暉
多摩支部広報(委)
042-723-4284



あけまして
おめでと
うござい
ます



初春寸感



支部長 安田 暉

多摩支部校友の皆さま、
明けましておめでとうございます。
昨年10月19日、
多摩支部主催で母校の誇る先
端研究・社会連携の拠点＝中野

キャンパスツアーに参加しました。ここには、
国際日本学部、総合数理学部と大学院研究科に
所属する2159人の学生が通っていて、母校
全体の学生男女構成比が7対3に比べ、中野キャン
パスは女子学生比率が5割を超える由。図書館、
教室などの教育環境は快適・豪華・素晴らしいの
言葉につきました。

我が多摩支部にも「女子会」対応役員が誕生
いたしました。よろしく願いいたします。半
世紀以上前、階段教室での昼下がり、阿部真之
先生の「新聞雑学」の講義でいつも最前列右
の席に女子学生がたった一人受講していたのを
想います。

ところで、昭和32年入学の私達が、コンパ
の時、良く耳にした明治大学の里謡がありました。

「白雲なびく 駿河台に 今日通う明大生
そばふる雨に傘ささず 質実剛健 ちよいと肩
張る。」

なんともほろ苦く男のダンディズム漂うこのウ
タを腕組し、目をつぶってつぶやくように歌っ
ていた先輩がいました。

新時代、幕開けの年に



幹事長 西山 強

。皆様、新年明けましておめ
でとございます。

新年を清々しい気持ちでお
迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

さて、多摩支部は設立後10年
で組織委員会の懸命なる努力と当該地域支部の母
校愛が結実し、地域支部倍増の20地域支部へと
大きく成長してきました。

以前も申し上げましたが組織は、誕生後成長して
やがて安定、成熟期へと発展していきます。多摩
支部全地域の組織化まで今一步（未組織：稲城市、
瑞穂町のみ）のところまで来た10年間を成長期
とすれば、これから10年は安定期への移行期と
も考えられます。こう考えると今年が多摩支部の
新時代、幕開けに位置する年と言えます。

多摩支部の更なる飛躍に

- ・全地域の組織化
- ・組織等の品質（質）の向上と情報のスピー
ドアップ
- ・女子部創設

を実施し、全国支部のリーダーとしての存在感を
示そうではありませんか。これらを実施する為
に「多摩支部運営方針」を役員会で検討し、課題毎
に委員会を作り課題解決に努力して頂いています。
必ずや成功して行くと確信しております。地域支
部交流の輪を広げ、「個」を活かし「和」を保つ
組織作りで、「前へ！」進めて行きましょう。

夢は来期へ・・・もちこし



中野キャンパスツアー実施



昨年、六大学野球は春・秋連覇を果たしましたが明治神宮大会は惜敗、そしてラグビーも駅伝もバスケも頂点には至りませんでした。選手諸君も応援する校友も頑張りましたが・・・今一歩いや数歩？
司法試験・公認会計士 合格者数も上位に大差！
龍馬の如く飛躍を目指して。
母校の発展の為に「明治はひとつ」

明治大学 校友会 東京都多摩支部 大忘年会



平成26年午年、明けましておめでとうございます。・・・多摩支部広報委員会委員一同